

<重点目標> 子どもが毎日行きたい、教職員が働きたいと思える学校の推進
～しっばいなんかへのかっぱ MCKE ～



目指す子どもの姿

- おつかいのできる子
- 一人でバスに乗れる子
- 図書館で読み調べられる

<子どもの実態>

- 落ち着いて学習に取り組む
- 知的な活動に積極的に参加しようとする
- 依存心が強く受け身である
- 語彙が乏しく、思考・表現が苦手である

何ができるようになるか（学校教育の基本）

- ◎学校の外に出たときに、主体的に判断して行動でき、目的を達成できる
- 経験から学ぶ
- 変化に対応
- 批判的に考え、行動する

何を学ぶか（教育課程の編成）

- 学ぶ力の向上を目指す教育の充実
- 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実
- 自分の立ち位置を知り、生きる力を考える教育の充実

子どもの発達をどのように支援するか（配慮を必要とする子への指導）

- ◎ユニバーサルデザインの学校空間づくり・授業づくり
- 公正に個別最適化された学びの充実・通級指導の充実
- 特支コーディネーター、支援員等と連携して、必要な支援を行う
- 教員間で情報共有を行い、発達の段階や行動の特性に合った支援

何が身に付いたか（学習評価を通じた学習指導の改善）

- ◎学習したことや体験したものと学習活動とを比べたり、つなげたりしている
- ◎場面の状況を把握し、課題解決の方法を見出している
- ◎自分の考えを再構築し、主体的に行動している

どのように学ぶか（教育課程の実施）

- 全教室「南小モデル」で統一した教室環境
- つなトークにより子どもが深く考える授業改善
- 道徳授業で学んだことを日常にいかせる指導の充実
- hyper-QUの活用（子どもの成長の見取り）
- よい姿勢の習慣化（椅子軸法、セロトニン）
- 体力向上・勝ち色を活用した新体力テストの実施

目標達成に向けた具体的な取組

学ぶ力の向上を目指す教育の充実

- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着
- 教科担任制、個別学習・補充学習の充実
- 学校図書館を活用した調べ方・学び方の充実（南小メディアセンターの活用）
- 自ら学ぶ力の育成
- 問題解決能力・情報活用能力の育成
- 家庭学習の充実・一人一台端末の活用

豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

- 望ましい人間関係を築く指導
- 生徒指導・教育相談等の充実、自己肯定感の構築（チームで取り組む体制整備）
- 体力・健康づくりの充実
- 体力向上の取組 □食育の推進
- よい生活リズムの習慣化
- 心の教育
- 道徳の時間の充実、全学級で統一した道徳ノートの取組、活用・評価

家庭・地域の信頼に応える教育の充実

- 開かれた学校づくりの推進
- CSの熟議、学校だより、HP 発信
- 地域教材・外部人材の有効活用
- 地域や人材を有効に活用した教育活動（北紋バス、南小農園、紋育バンクなど）
- 学校間連携、PTA・保護者との連携
- CBS（超勉強週間）小中連携
- 家庭学習・家読